

1998年8月

127(1959)

西陰 徹郎, 遠藤 光夫

(対象)食道癌787例。うち手術例が699例(1985. 1~1996. 12), 粘膜切除術例が88例(1989. 1~1996. 12)である。(方法)重複癌の判定基準を以下に示す。各病変が明確な悪性所見を有し、連続性を欠く。一方が他方の転移でない。組織型が異なる。診断間隔1年以上を異時性、1年未満を同時性とする。(結果)787例中119例(15.2%)に重複癌を認め、3重複例は10例であった。重複癌の臟器別頻度は、頭頸部52例、胃44例、結・直腸11例の順で、頭頸部癌重複例では食道多発癌の頻度が有意に高かった。胃癌重複例では多くが同時性重複であった。食道癌症例は頭頸部癌発生の高危険群であり、特に食道多発癌例の危険度は高い。内視鏡検査時に咽喉頭を良く観察する必要ある。

A-I-演-(2). 食道重複癌、特に食道頭頸部重複癌の臨床病理学的検討

九州大学第2外科

藤 也寸志, 川口 英俊, 佐伯 浩司
園田 耕三, 大賀 丈史, 北村 薫
中島 秀彰, 桑野 博行, 杉町 圭蔵

当科で切除再建された食道癌患者729例を対象とし、食道重複癌の臨床像・病理像を検討した。重複癌の臟器としては、胃、頭頸部、大腸、肺などがあり、胃、頭頸部で75%以上を占めていた。前後期に分けて検討すると、同時性重複癌および他臓器癌先行例の頻度に差は見られなかったが、食道癌先行例は約3倍に増加していた。食道頭頸部重複癌では異時性が、逆に胃癌重複例では同時性のもの多かった。食道頭頸部重複癌では、食道内胃型上皮や食道内多発癌の頻度が高く、この領域の多中心性発癌の可能性が示唆された。しかし、それにはp53遺伝子の関与は少ないと考えられた。

A-I-演-(3). 他臓器重複癌を伴う食道癌症例の臨床的検討

神戸市立中央市民病院第1外科

柳橋 健, 相川 琢磨, 井手 穎仁
藤家 悟, 橋本 隆, 小西 豊
谷 友彦, 梶原 建熙

1983年から1996年に当科にて加療した食道癌症例331例中、他臓器重複癌を有する症例は53例(16%)に認められ、そのうち同時性は23例、異時性は26例、同時+異時性は4例にみられた。また3重複癌を10例、4重複癌を1例に認めた。重複臓器は同時性では胃が16(52%)と最も多く、ついで頭頸部が9(29%)、異時性では頭頸部が14(41%)と最も多くみられた。

頭頸部との重複癌については、同時性重複癌例が最近急増しており、これらの症例では食道癌は早期例、多発例が多くみられた。また異時性例でも両癌の診断の間の期間が頭頸部以外との重複癌例に比較して短い例が多く、頭頸部癌の診断時やフォローアップ時の食道のスクリーニング検査の必要性が示された。

A-I-演-(4). 食道癌と他臓器重複癌症例の検討

富山医科大学第2外科

榎原 年宏, 坂本 隆, 井原 祐治
田内 克典, 斎藤 光和, 清水 哲朗
藤巻 雅夫

当科における食道癌と他臓器重複癌症例の頻度は21.8%であった。重複癌の対象臓器として多かったのは胃、頭頸部で、胃は同時性に、頭頸部は異時性に多く対照的であった。同時性胃癌では、胃癌の大多数が早期癌であったのに対し、食道癌は半数がステージIVの進行癌であった。食道重複癌症例の予後は不良であり、同時性では発見時、より進行した方の癌に、他臓器癌先行例では食道癌、食道癌先行例では第2癌に左右されていた。

以上、食道癌患者の診療にあたっては同時性では胃、術後は頭頸部や泌尿器系を中心とした観察が特に必要と思われた。また頭頸部癌、胃癌術後患者においては、長期にわたる食道の定期的な観察が必要と思われた。

A-I-演-(5). 食道と他臓器の重複癌の検討

浜松医科大学第2外科、同 救急部*

西野 輝彦, 今野 弘之, 神谷 欣志
諏訪大八郎, 松浦めぐみ, 松本 圭五
馬場 恵, 田中 達郎, 丸尾 祐司
中村 達, 馬場 正三, 青木 克憲*

3重複癌7例を含む食道他臓器重複癌47例について検討した。一般的特徴とは別に、以下の点が示された。
1) 女性の食道他臓器重複癌は男性とその特徴を異にし、甲状腺に多く、さらにCeに多く発生し、また頭頸部扁平上皮癌との重複はなく、精査、治療の方法に一考を要す。2) 3重複癌の検討から、食道癌胃癌の重複例では頭頸部領域の精査が必要であり、また頭頸部癌との重複例では胃の精査と胃管癌の発生に、より注意する必要がある。3) 頭頸部癌および胃癌既治療例の上部消化管screeningは食道癌、胃癌の早期発見に意義が大きい。4) 他病死が比較的多く、術後の経過観察に注意を要す。

A-I-演-(6). 食道癌と他臓器の重複癌についての検討

NII-Electronic Library Service